

週間感染症情報

2019年46-47週 2019年11月11日より2019年11月24日まで

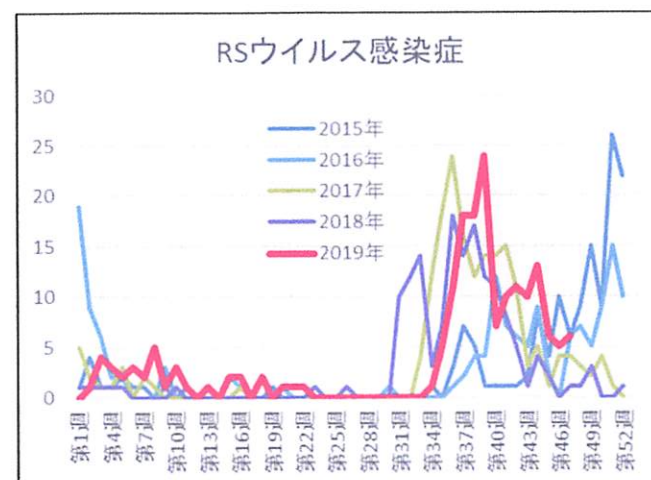
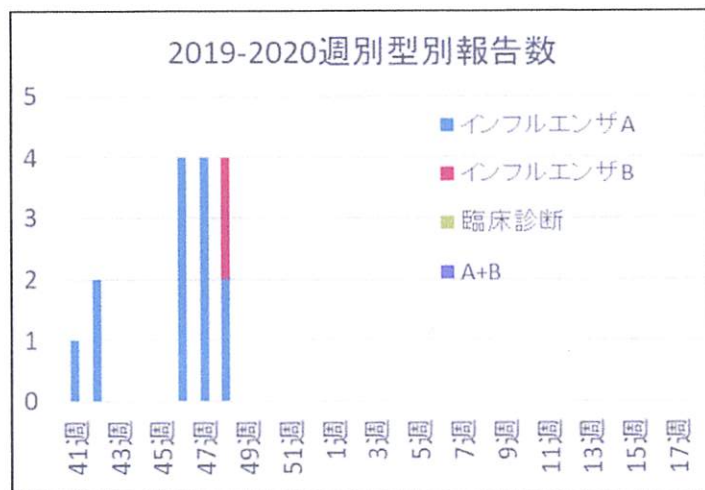
46週 47週

麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)	1	
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		
溶連菌感染症	15	8
手足口病	4	1
ヘルパンギーナ	4	
伝染性紅斑	3	3
感染性胃腸炎	23	11
ロタウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)	1	
突発性発疹	1	3
伝染性膿痂疹(とびひ)	3	1
ヘルペス性口内炎		
アデノウイルス感染症	7	7
RSウイルス感染症	5	6
マイコプラズマ感染症	2	
ヒトメタニューモウイルス		
インフルエンザ(臨床診断含む)	4	4
インフルエンザA	4	4
インフルエンザB		

遅くなりましたが46週-47週二週間分の報告です。寒くなり嘔吐下痢、感冒症状の患者さんが増えてきました。11月28日に岡山県にインフルエンザ注意報が発令されました。本格的なインフルエンザの流行が始まります。下のグラフは、41週から11/28(48週)までのインフルエンザの報告のまとめです。15歳以上が14例で、感染源不明の症例が多いです。型別では、インフルエンザAが13例、インフルエンザBが2例、計15例です。年末で忙しくなりますが無理をせず体調に注意し、手洗い・マスクの着用・咳エチケット等感染予防に努めてください。

新しい抗インフルエンザ薬ゾフルーザについてです。小児では感染力のあるゾフルーザ耐性の変異ウイルスが高い頻度で検出されたという報告があります。耐性ウイルスを考慮した慎重な薬剤の選択が望まれます。

今週になり、嘔吐を主とするノロウイルスによると思われるウイルス性胃腸炎が増えてきました。溶連菌感染症、アデノウイルス感染症の報告も続いています。発熱が主で感冒症状はないか軽度です。RSウイルス感染症は、右下のグラフの様に減少しました。年少児の入院例もまだあります。喘鳴・呼吸困難がある場合は早めに受診してください。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> 変更になりました。)